

## 4 区の情報発信のあり方

- 
- (1) 区の情報入手手段
  - (2) 重要と考える区の情報
  - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
  - (4) 区情報が得られない理由
  - (5) 区情報が得られない理由の詳細
-



## 4 区の情報発信のあり方

### (1) 区の情報入手手段

問10 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか  
(〇はあてはまるものすべて)。

■ 「あだち広報」が約7割で最も高く、次いで「トキメキ」が3割台半ば

#### ア 単純集計・経年比較／区の情報入手手段

(ア) 足立区に関する情報の入手媒体の上位は以下のとおりとなっている。

- ① 「あだち広報」(69.1%)
- ② 「トキメキ」(33.8%)
- ③ 「町会・自治会の掲示板・回覧板」(22.9%)
- ④ 「区のホームページ」(22.4%)
- ⑤ 「Aメール」(18.1%)

(イ) 前回調査と比較すると、上位5項目では「トキメキ」(+4.4ポイント)、「あだち広報」(+2.0ポイント)、「Aメール」(+1.7ポイント)の3項目で増加、「区のホームページ」(-3.3ポイント)、「町会・自治会の掲示板・回覧板」(-2.2ポイント)の2項目で減少となっている。また、上位5項目以外では、「足立区LINE公式アカウント」が3.0ポイントの増加となっている。

図4-1-1-① 経年比較／区の情報入手手段

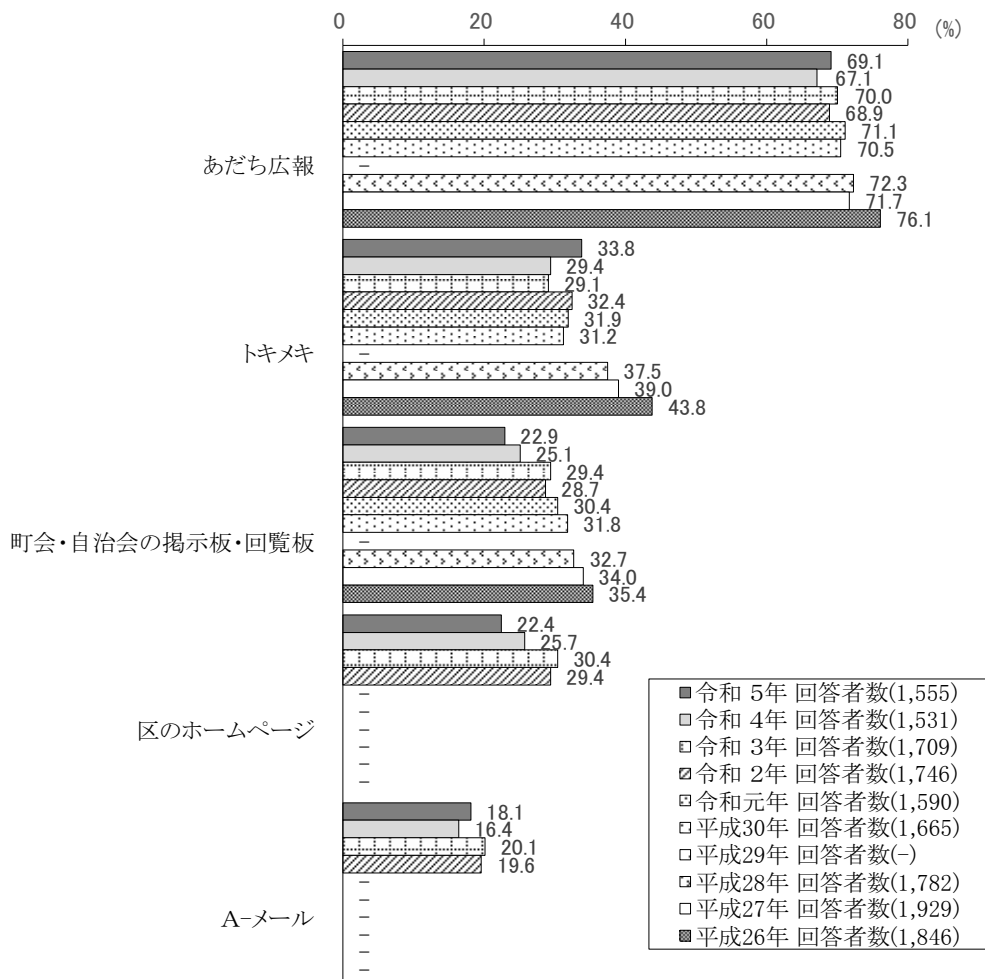


図4-1-1-② 経年比較／区の情報入手手段

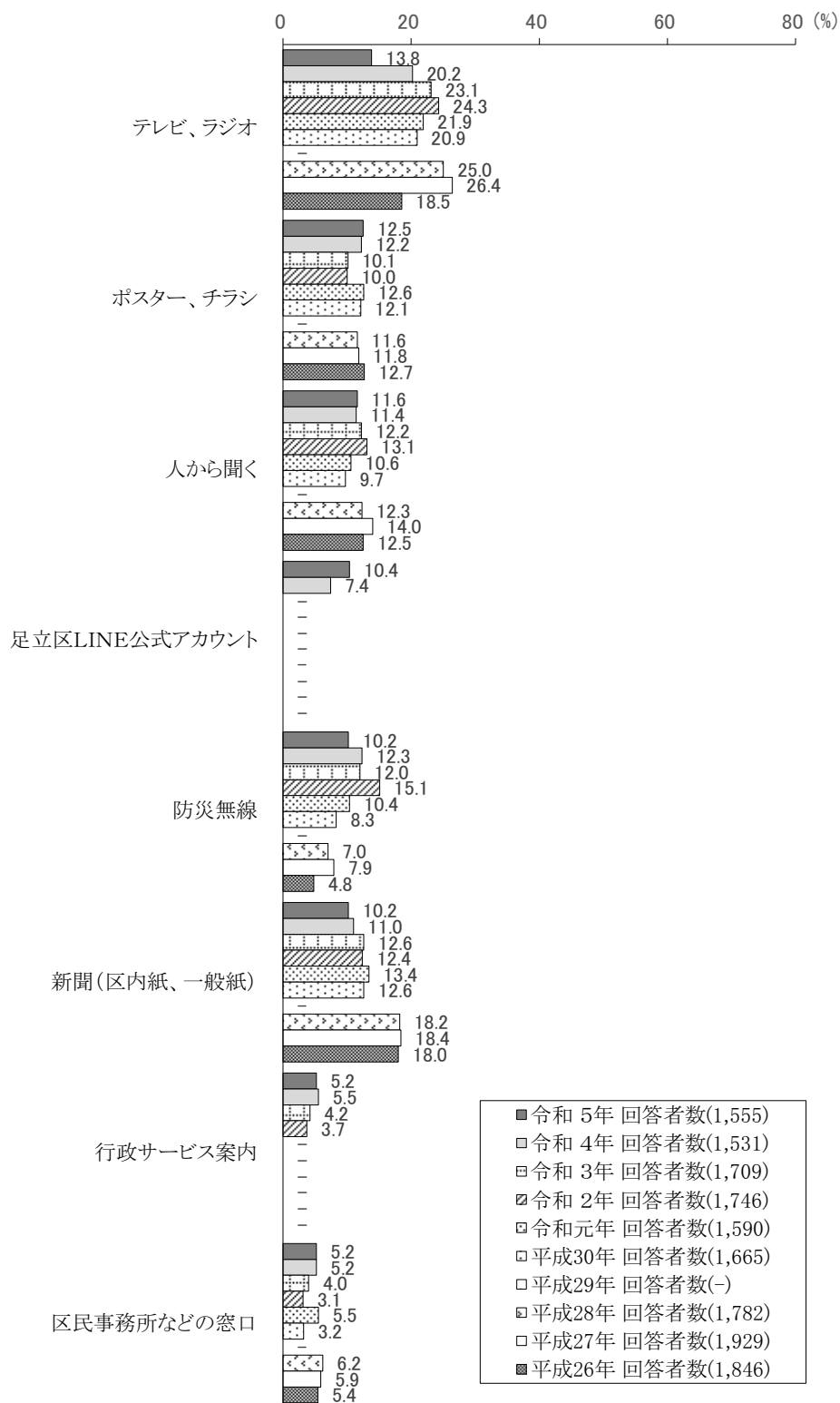
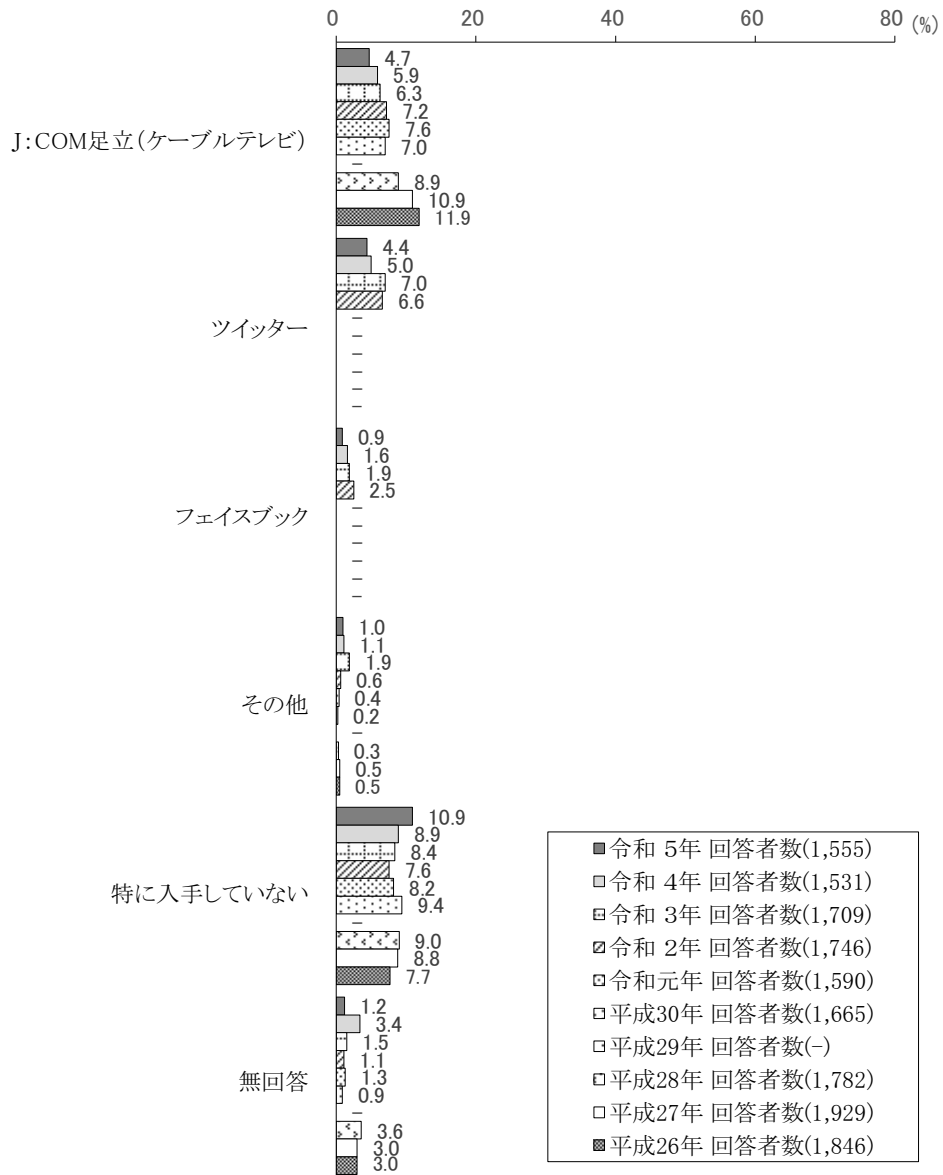


図4-1-1-③ 経年比較／区情報の入手手段

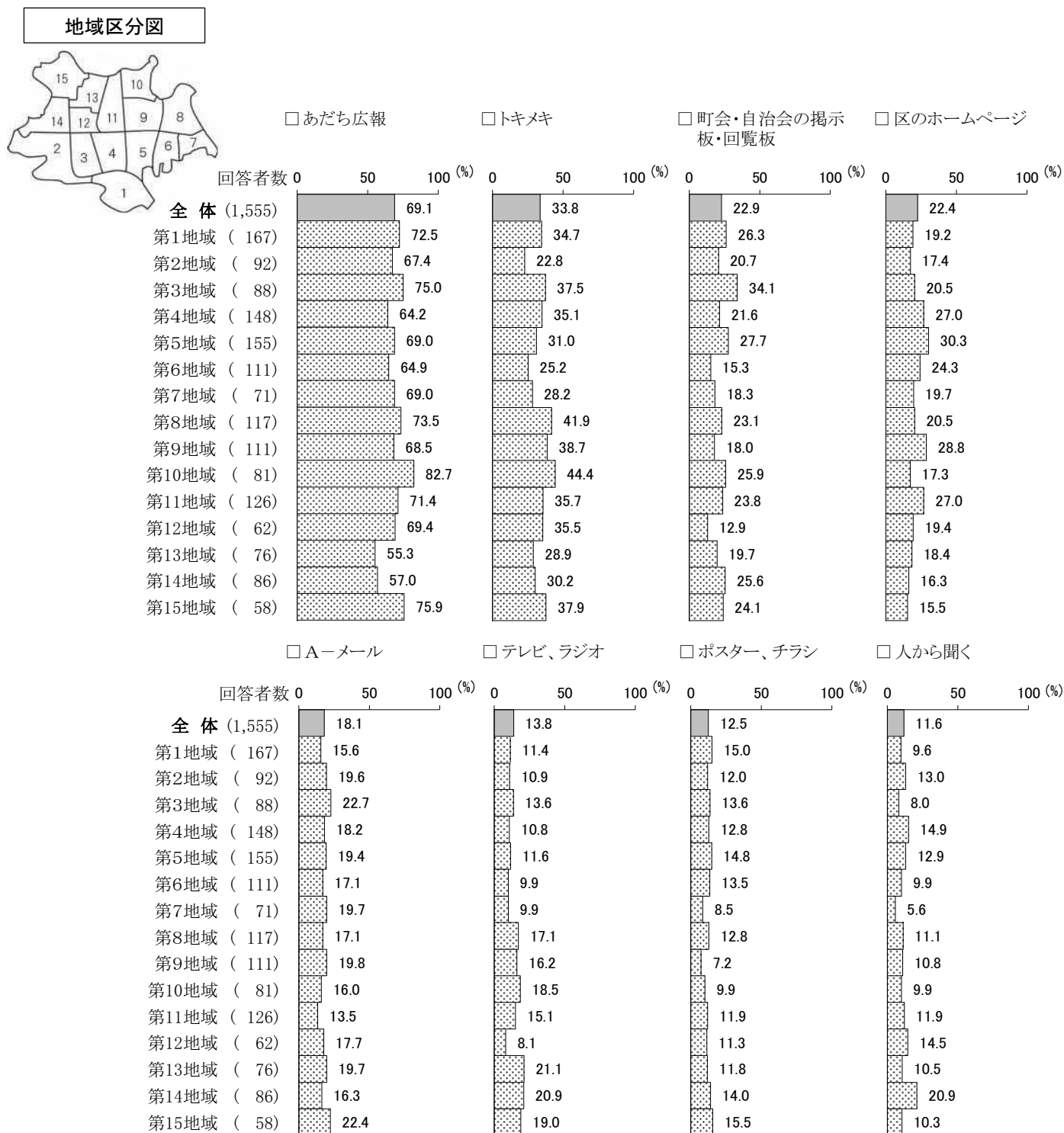


- ※ 本設問は、平成25年度以降から聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 令和元年度まで「インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）」の単独1項目で測定していたものを、令和2年度よりそれぞれの4項目に細分化して聴取している。
- ※ 「足立区LINE公式アカウント」は、前回令和4年度新設。

イ クロス集計・地域別／区の情報入手手段（上位8項目）

地域別でみると、「あだち広報」は第10地域で82.7%と最も高く、第13地域で55.3%と最も低くなっている。また、「トキメキ」は第10地域と第8地域で4割台、「町会・自治会の掲示板・回覧板」は第3地域で3割台、「区のホームページ」は第5地域で3割台とそれぞれ最も高くなっている。

図4-1-2 地域別／区の情報入手手段／上位8項目

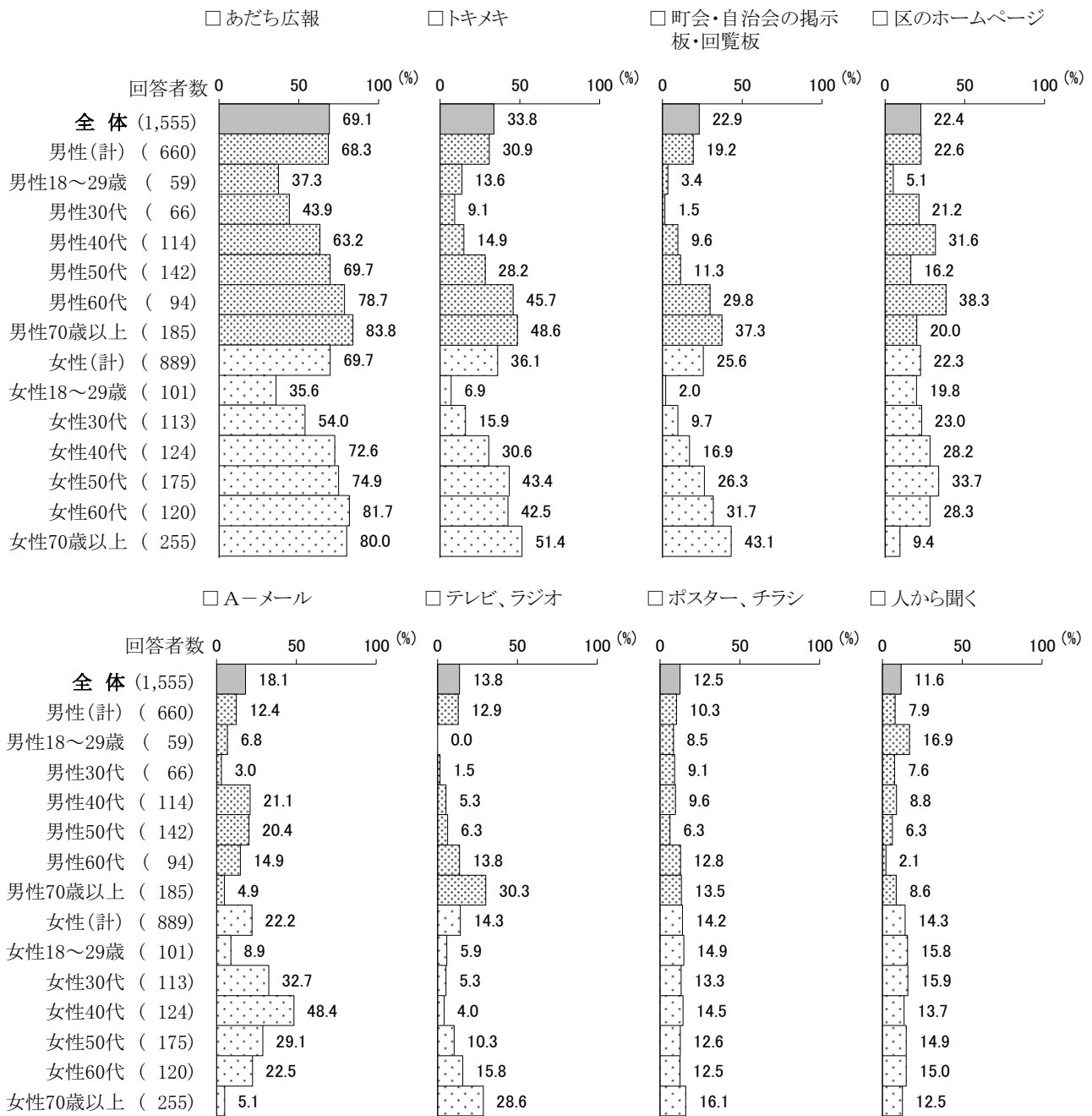


ウ クロス集計・性別、性・年代別／区の情報入手手段（上位8項目）

(ア) 性別で見ると、多くの項目で女性の方が高く、特に「A-メール」(+9.8ポイント)、「町会・自治会の掲示板・回覧板」と「人から聞く」(各+6.4ポイント)、「トキメキ」(+5.2ポイント)でそれぞれ5ポイント以上女性の方が男性より高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「あだち広報」、「トキメキ」、「町会・自治会の掲示板・回覧板」などの紙媒体は男女とも年代が上がるほど割合も高く、年代層での差が大きくなっている。また、「区のホームページ」、「A-メール」などの電子媒体は30～50代の中間年代層で高くなっている。

図4-1-3 性別、性・年代別／区の情報入手手段／上位8項目

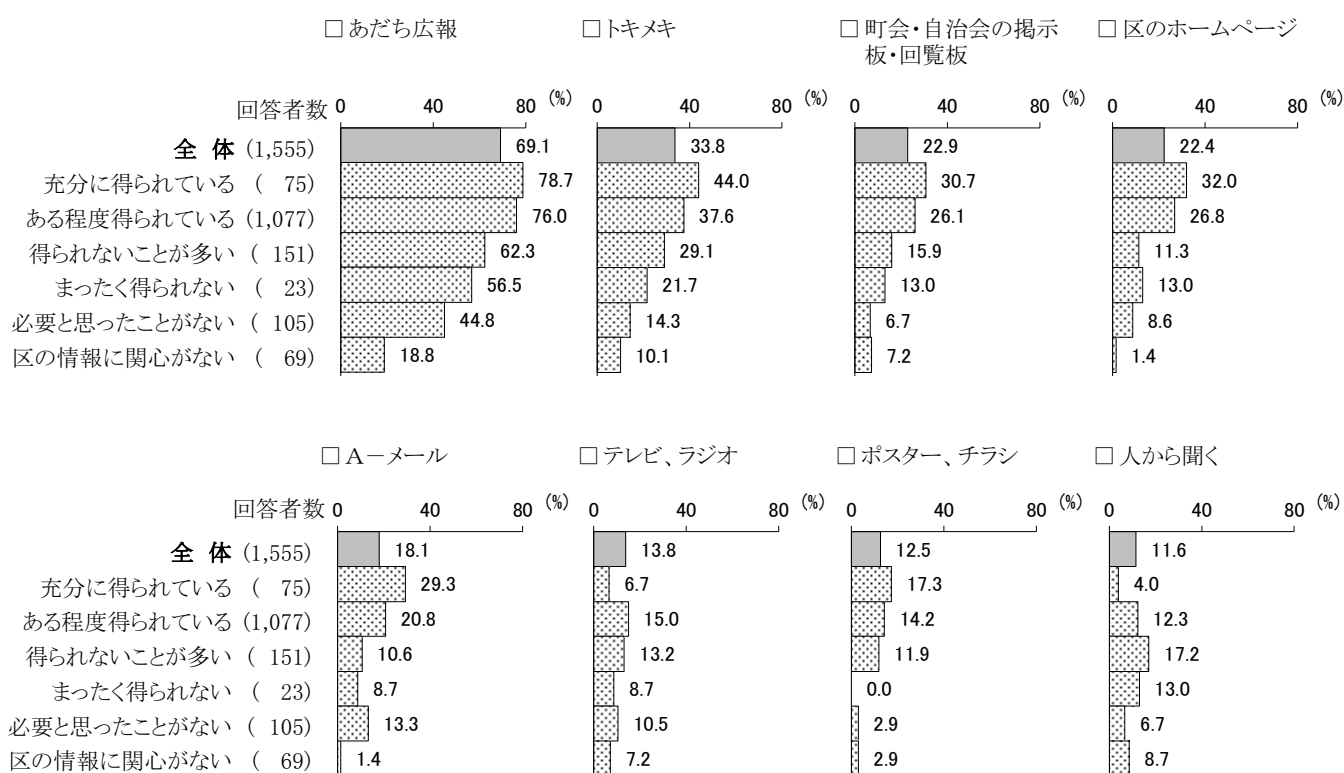


エ クロス集計・必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段

（上位8項目）

必要な時に必要とする区の情報入手状況別にみると、「あだち広報」「トキメキ」「町会・自治会の掲示板・回覧板」「区のホームページ」「Aメール」などの上位の項目では、〈十分に得られている〉と〈ある程度得られている〉を合わせた【情報が得られている層】の割合が高くなっている。

図4-1-4 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段／上位8項目





(2) 重要と考える区の情報

問11 あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか  
(〇はあてはまるものすべて)。

■ 「健康や福祉」が6割台半ば、「災害や気象」が6割弱

ア 単純集計・経年比較／重要と考える区の情報

(ア) 重要と考える区の情報の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」(66.2%)
- ② 「災害や気象に関する情報」(58.5%)
- ③ 「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」(52.8%)
- ④ 「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」(47.0%)

(イ) 前回調査と比較すると、上位4位までの順に変動はないが、1位の「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」で6.0ポイント増加している。また、「イベントやスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報」は6.0ポイント増加し、6位から5位に上昇している。

図4-2-1-① 経年比較／重要と考える区の情報

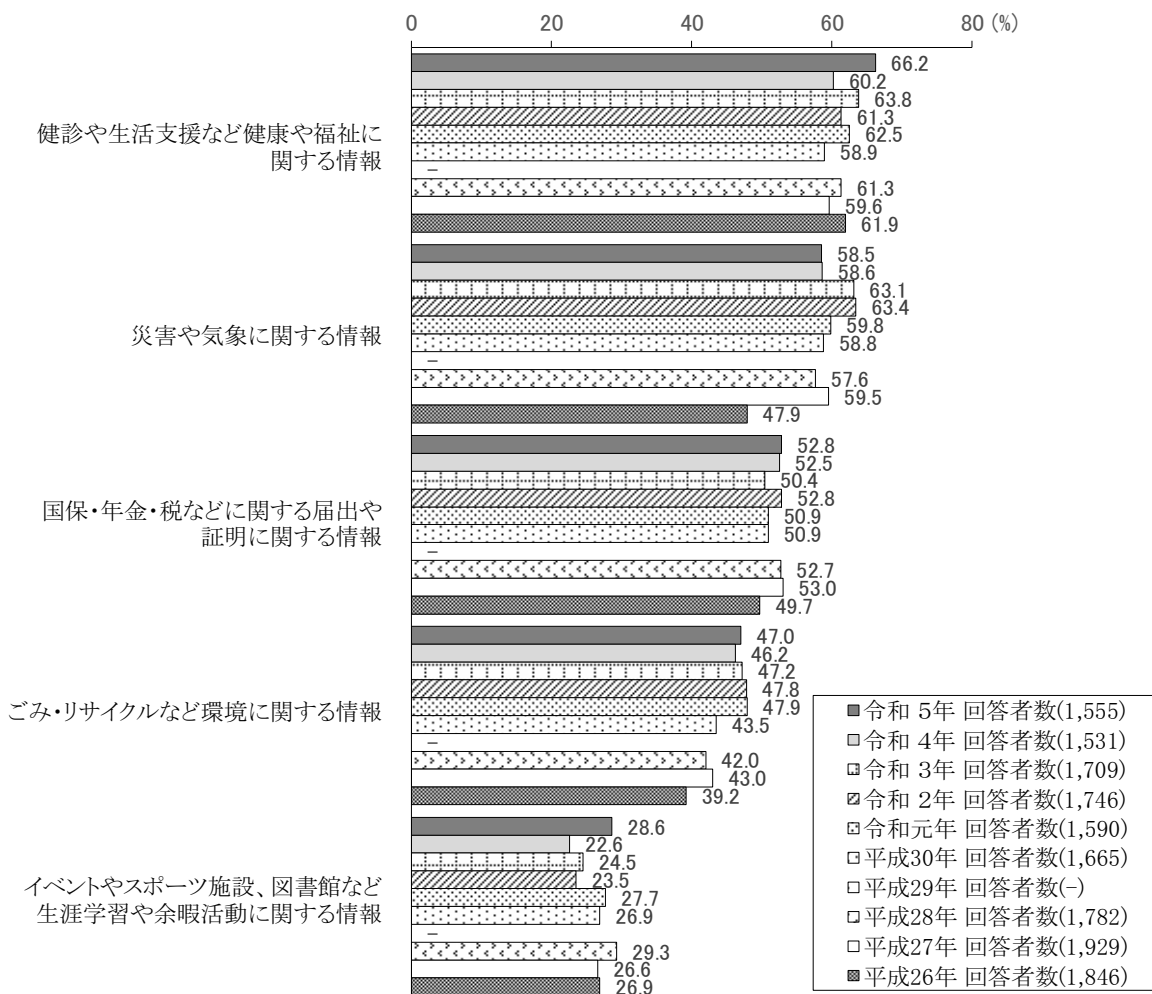
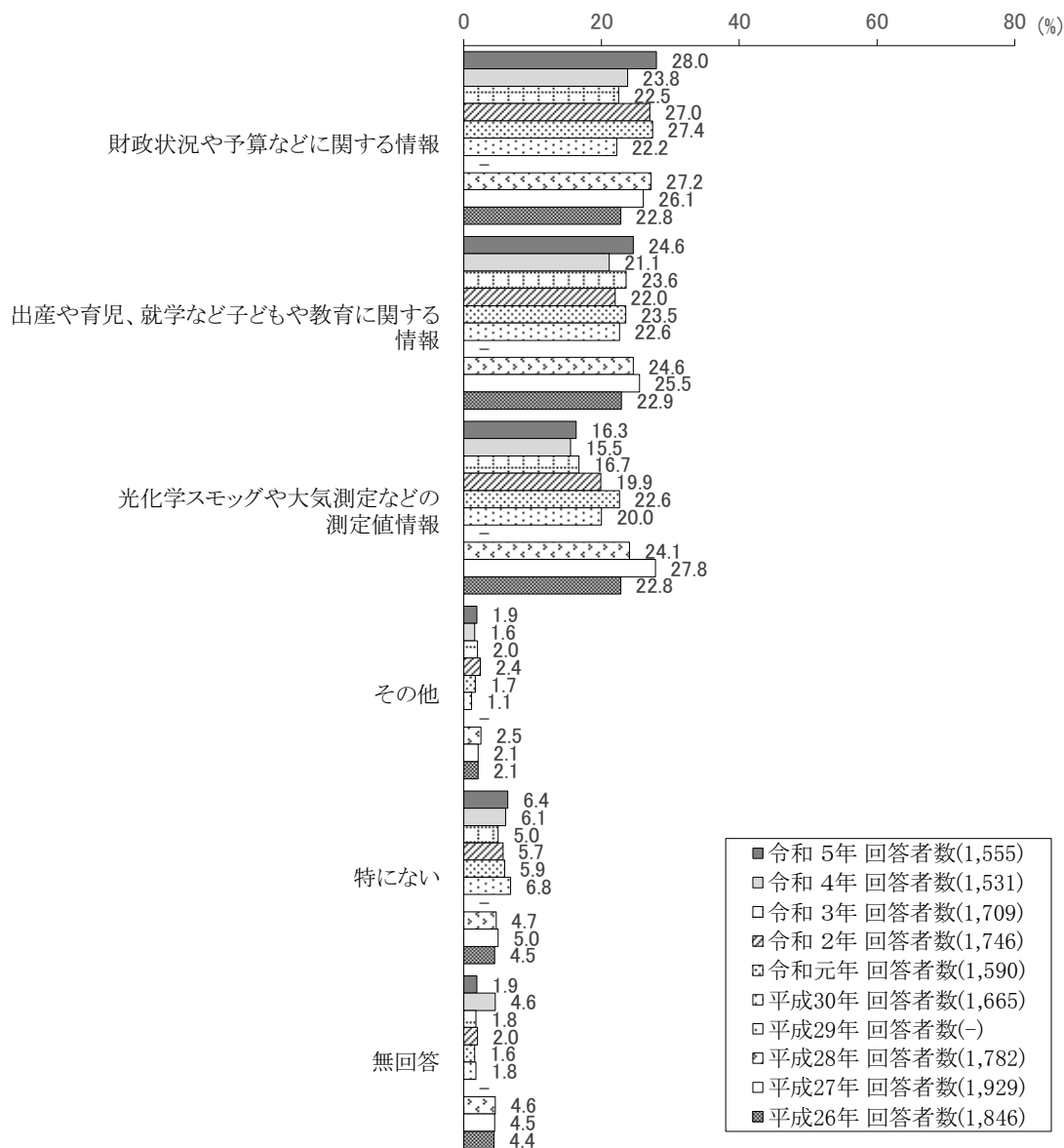


図4-2-1-② 経年比較／重要と考える区の情報



※ 本設問は、令和元年度まで「どのような情報が必要だと思いますか」という設問文で聴取していたが、令和2年度から「どのような情報が重要だと考えていますか」という設問文にかえた。

※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。

イ クロス集計・性別、性・年代別／重要と考える区の情報（上位8項目）

（ア）性別でみると、8項目中7項目で女性の方が男性よりも高くなっている。

a 女性の方が男性より5ポイント以上高い項目

（a）「災害や気象に関する情報」（+8.2ポイント）

（b）「出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報」（+6.6ポイント）

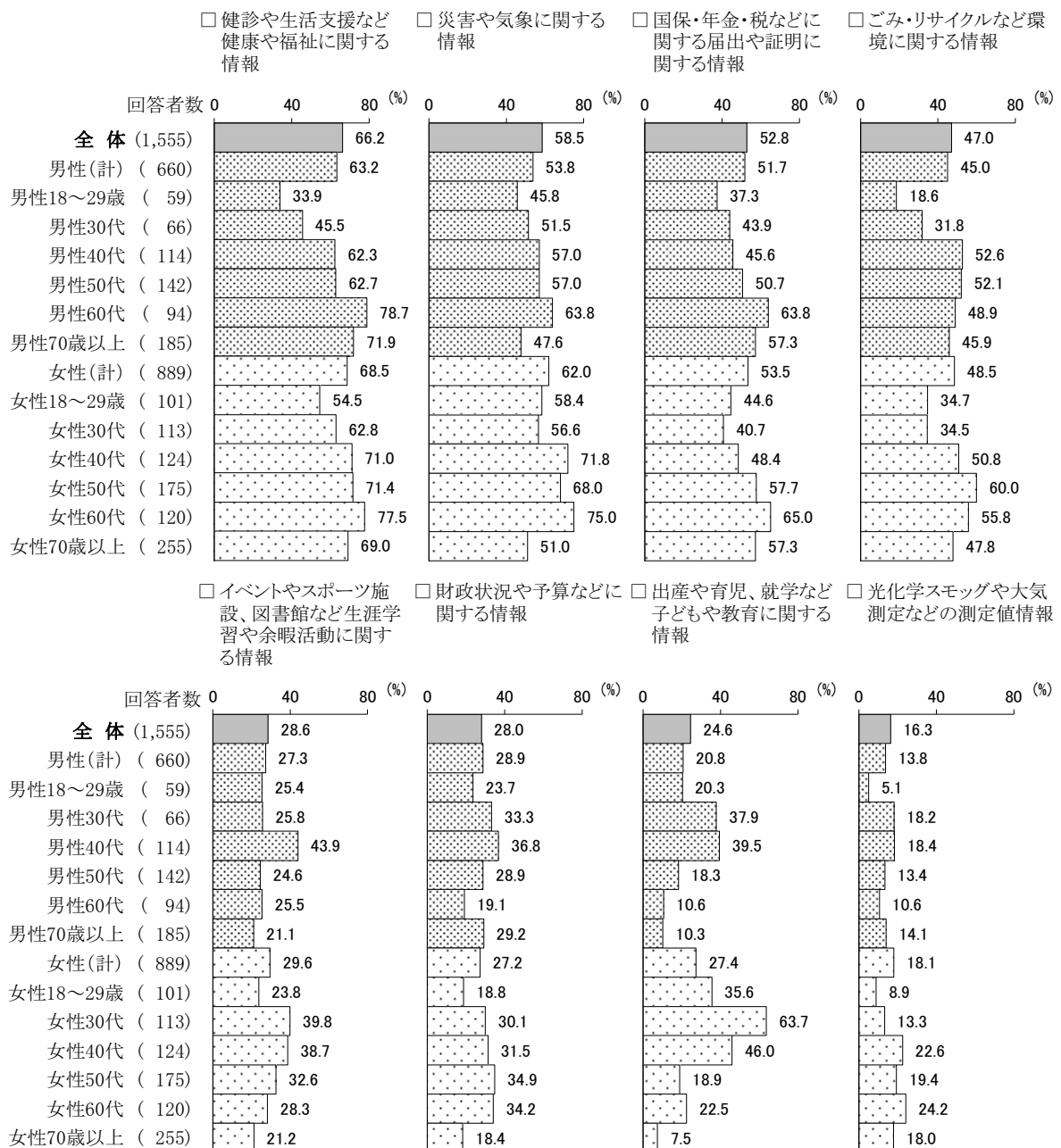
（c）「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」（+5.3ポイント）

b 男性の方が女性よりも高い項目

（a）「財政状況や予算などに関する情報」（+1.7ポイント）

（イ）性・年代別でみると、男女ともに「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」と「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」はおおむね60代まで年齢が上がるほど割合も高くなる傾向がみられる。また、「災害や気象に関する情報」は女性の60代で75.0%と最も高く、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」は女性の50代で60.0%と最も高くなっている。

図4-2-2 性別、性・年代別／重要と考える区の情報／上位8項目

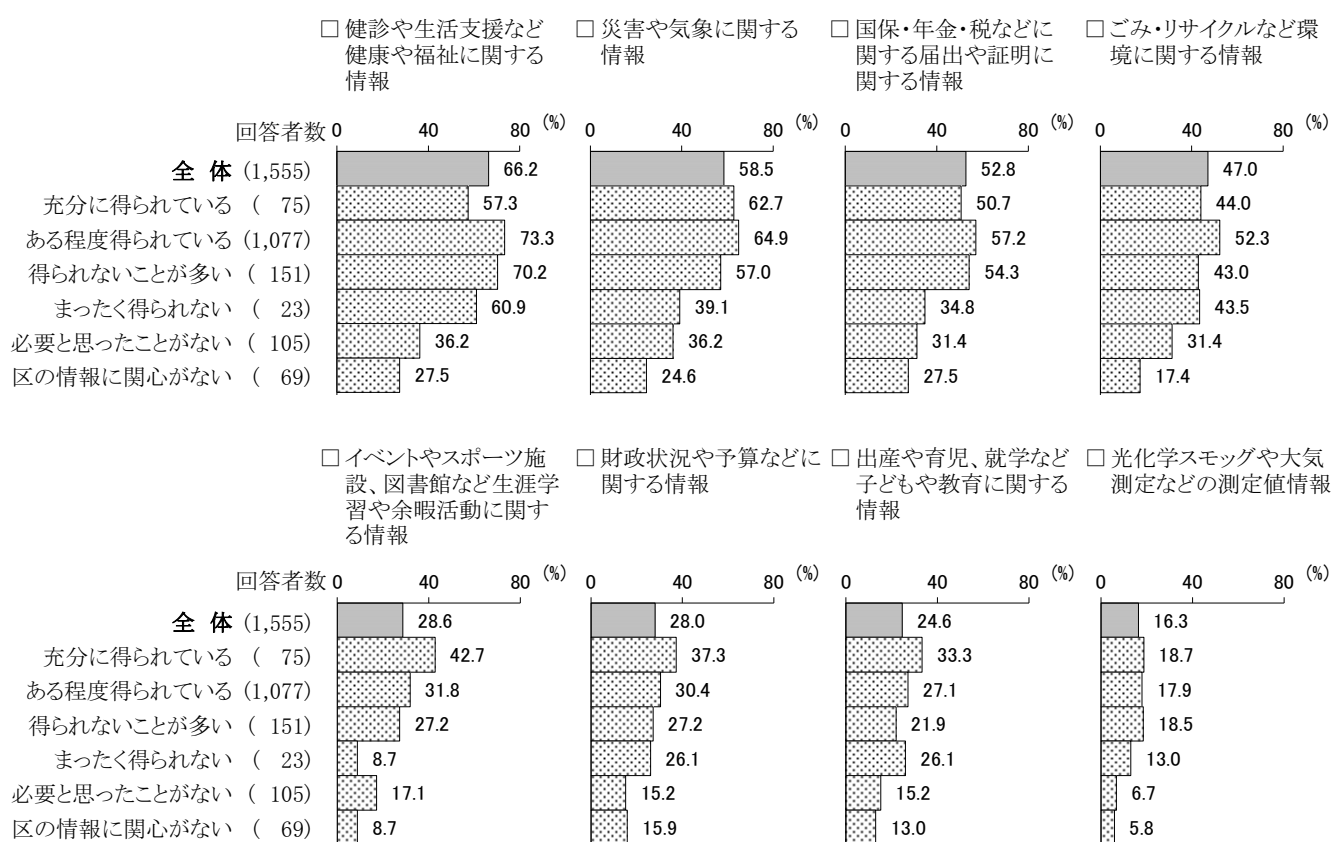


ウ クロス集計・必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報

(上位8項目)

必要な時に必要とする区の情報入手状況別(〈まったく得られない〉はサンプル数が少ないため参考程度となるため、〈十分に得られている〉〈ある程度得られている〉〈得られないことが多い〉の3項目)にみると、上位4項目の「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」、「災害や気象に関する情報」、「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」では〈ある程度得られている〉が最も高く、5位以下の4項目では〈十分に得られている〉が最も高くなっている。

図4-2-3 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報／上位8項目



（3）必要な時に必要とする区の情報入手状況

問12 あなたは、必要なときに必要とする区の情報を得られていますか（○は1つだけ）。

■ 必要なときに【得られている】は7割台半ば、【得られていない】は1割

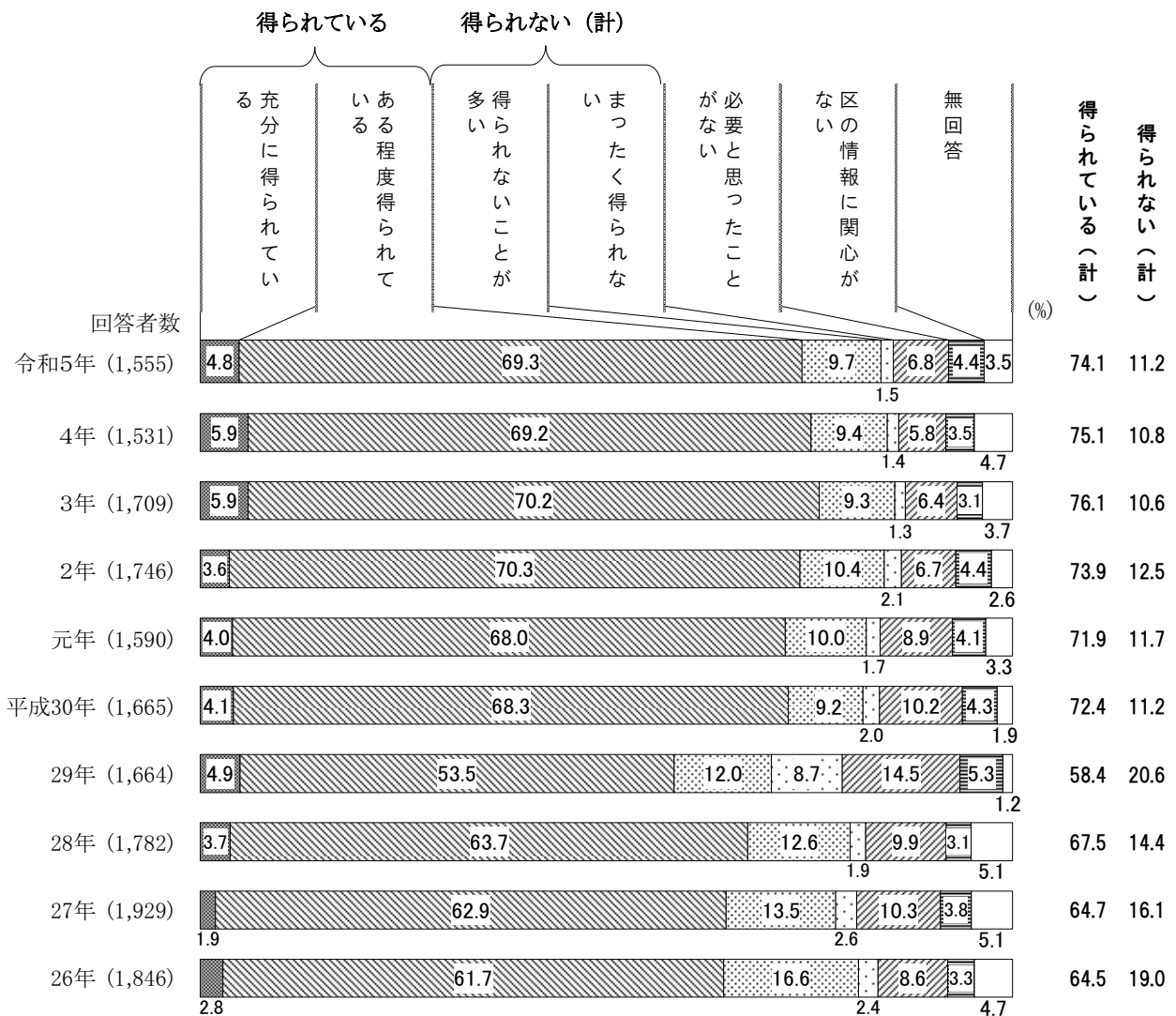
ア 単純集計・経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況

（ア）必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「十分に得られている」が4.8%で、これに「ある程度得られている」の69.3%を合わせた【得られている】は74.1%となっている。

（イ）必要な時に必要とする情報が「得られないことが多い」は9.7%、「まったく得られない」は1.5%で、これらを合わせた【得られない】は11.2%となっている。

（ウ）前回調査と比較すると、特に大きな違いはみられない。

図4-3-1 経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況



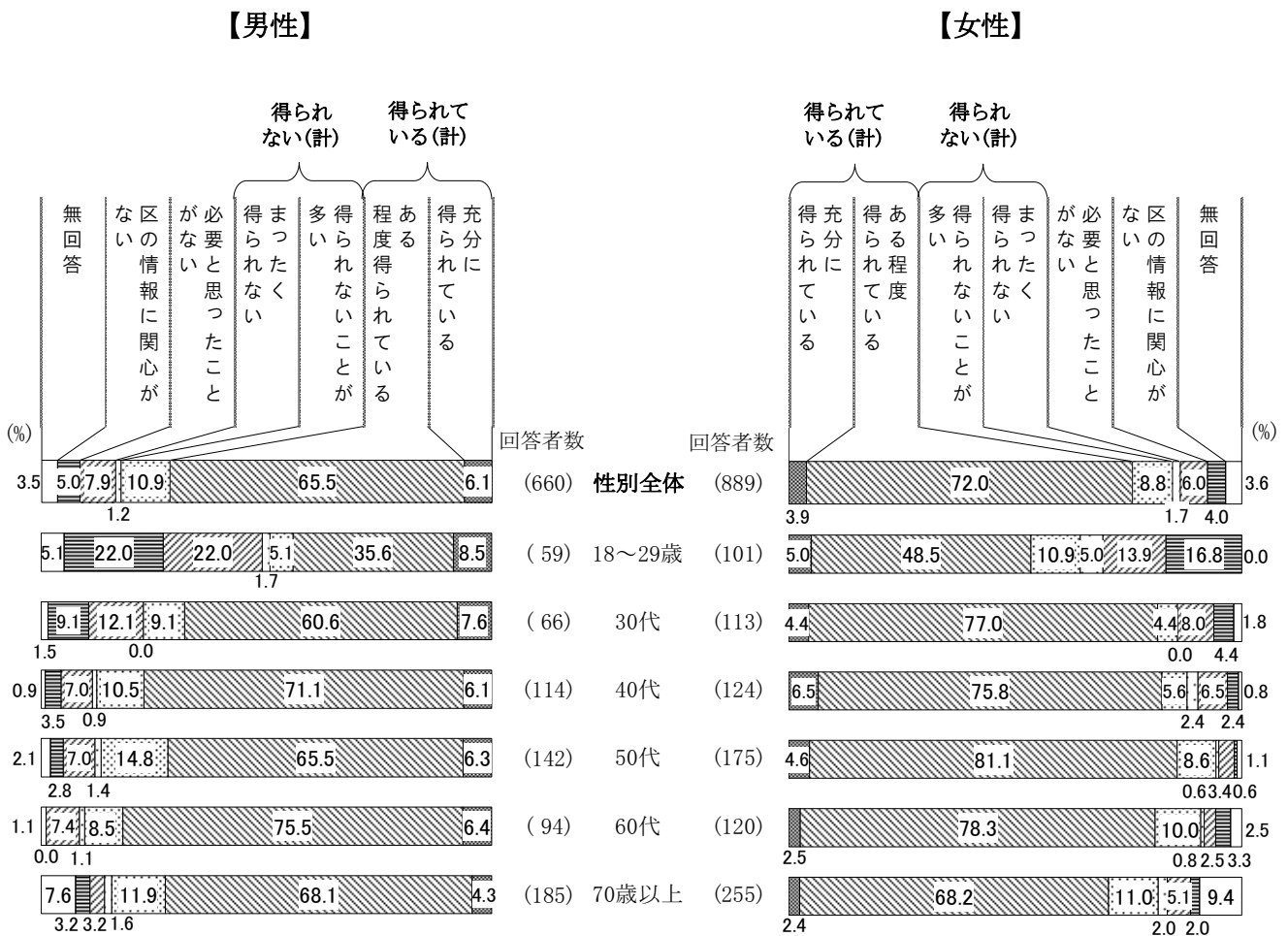
※ 平成29年度では、本設問の前の問である「区の情報入手手段」および「必要とする区の情報」を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

イ クロス集計・性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

（ア）性別でみると、【得られている】は女性（75.9%）の方が男性（71.5%）より4.4ポイント高くなっている。

（イ）性・年代別でみると、【得られている】は、女性の50代が85.7%で最も高く、次いで女性の40代（82.3%）となっている。一方、「必要と思ったことがない」と「区の情報に関心がない」は男性の18～29歳（ともに22.0%）で2割超と他の性・年代層に比べて特に高くなっている。

図4-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況



（4）区の情報 that 得られない理由

問12で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に  
問12-1 主にどのような理由からですか（○は1つだけ）。

■「情報の探し方がわからない」が3割台半ば、「情報が探しにくい」が2割台半ば

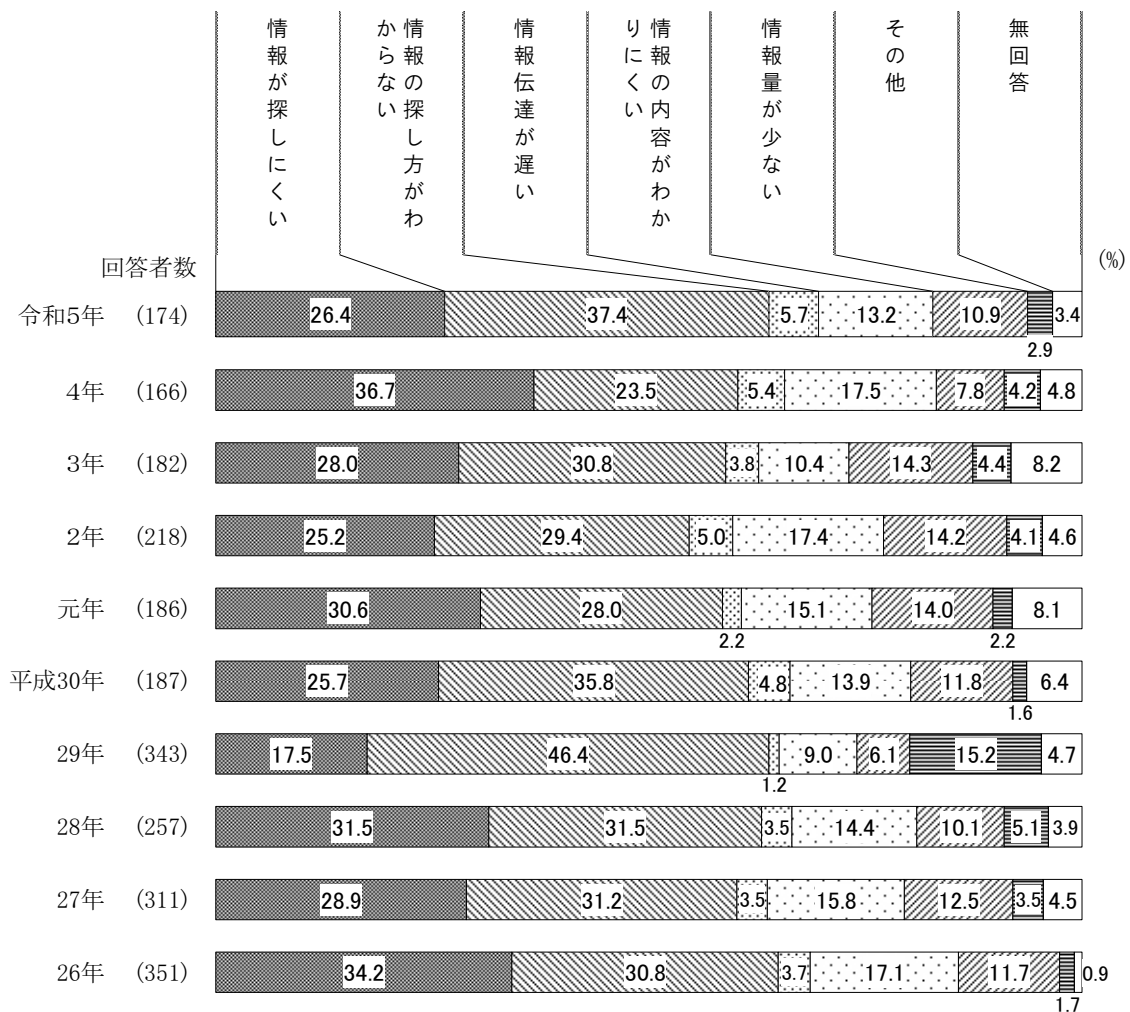
ア 単純集計・経年比較／区の情報 that 得られない理由

（ア）区の情報 that 【得られない】という人にその主な理由を聴いたところ、割合が高い順に以下のとおりとなっている。

- ①「情報の探し方がわからない」（37.4%）
- ②「情報が探しにくい」（26.4%）
- ③「情報の内容 that わかりにくい」（13.2%）

（イ）前回調査と比較すると、「情報の探し方がわからない」が13.9ポイント増加し、「情報が探しにくい」が10.3ポイント減少し、順位が入れ替わった。

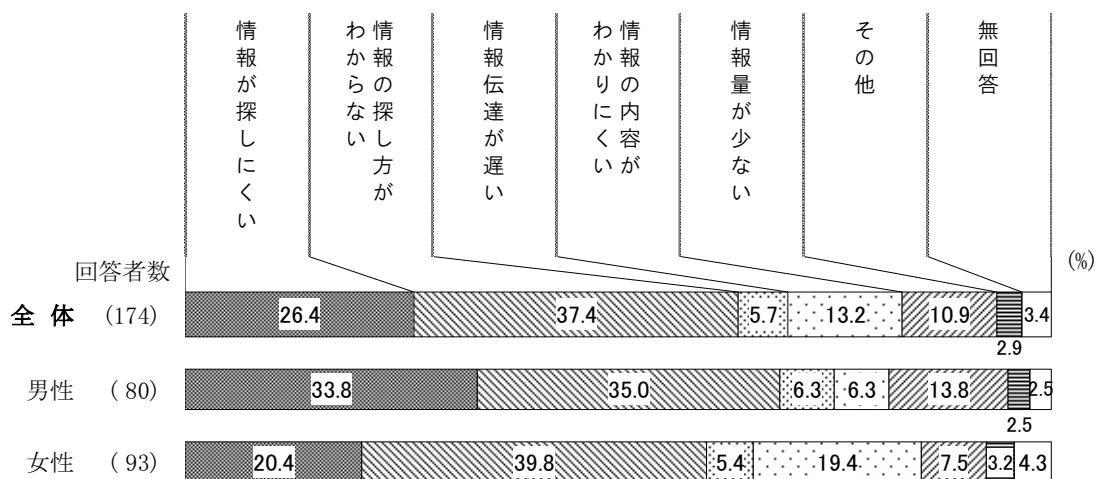
図4-4-1 経年比較／区の情報 that 得られない理由



イ クロス集計・性別／区の情報得られない理由

性別で見ると、「情報が探しにくい」は男性（33.8%）の方が女性（20.4%）より13.4ポイント高く、逆に「情報の内容が分かりにくい」は女性（19.4%）の方が男性（6.3%）より13.1ポイント高く、「情報の探し方がわからない」でも女性（39.8%）の方が男性（35.0%）より4.8ポイント高くなっている。

図4-4-2 性別／区の情報得られない理由





## (5) 区の情報得られない理由の詳細

問12で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に問12-2 問12-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

区の情報得られない理由として寄せられた自由回答の内容を「あだち広報」「区のホームページ」「その他」の3項目ごとに、主な内容と件数をまとめると、以下のとおりとなった。

あだち広報 (70名のご回答)	件数
読みづらい、わかりづらいから	15
満足できる情報がない・内容が薄い	9
自分にとって必要ない情報が多いから	8
そもそも読んでいない・届いていない	8
見る時間がない・見る機会が少ないから	6
ざっと目を通すだけだから	3
情報の提供が遅い	3
目が悪いから	2
その他	16

区ホームページ (66名のご回答)	件数
探しにくい、わかりづらいから	19
見る機会がないから	16
パソコン・スマホを所持していない・使い方がわからない	12
欲しい情報がない・不足している	6
その他	13

その他 (30名のご回答)	件数
情報の提供が少ない・わかりにくい	6
情報の入手方法がわからない	4
自主的に情報を得ようと思わない	4
スマホ・パソコンを使えない人への情報提供が欲しい	3
情報について信頼性がない	2
字が小さく見にくい	2
チラシや広告等で知らせてほしい	2
その他	7

